

キャンドルサービス



体育館用燭台

1 実施時期 通年可能です。

2 自然の家で準備できる物

◆無料貸出

| 貸出場所 | 貸出物品 | 体育館用燭台 |
|-----------|--|--------|
| 事務室 | ①衣装類(火の神 火の精衣装, つえ, 髪飾り) ②音響機器 (CD デッキ, ワイヤレスアンプ, マイク等) ③分火用トーチ棒 | |
| 体育館 講堂 | ④燭台, ブルーシート ※研修室用燭台は、講堂で貸出 | |

※体育館、講堂・・・放送設備あり、ワイヤレスマイクのみ事務所貸出

研修室・・・・・・ワイヤレスアンプ、CD デッキ等を事務所貸出

◆有料物品

①キャンドル

②アルミカップ (個人でキャンドルを持たせるとき)

※キャンドルは団体で持参してもかまいません。



分火用トーチ棒

3 事前準備

(1)実施判断

キャンプファイヤーの代わりに実施する場合、団体の責任で最終判断していただきます。

(2)場所の選定

活動場所は、体育館・講堂・研修室から事前に選びます。同宿団体がある場合は、それぞれの希望を調整して決定します。

(3)燭台の設置

ロウが落ちるおそれのある部分(燭台周辺)に必ずシートを敷いてください。シートは燭台と一緒に保管してあります。

4 後片付け

・使用した機材は、もとの場所にもどしてください。貸出物品は、事務室に返却してください。

また、団体で購入いただいたキャンドルは、お持ち帰りください。

・使用した場所の清掃を必ず行ってください。

(特に、床にロウが落ちていないように注意してください。)

5 その他

・体育館のみ、非常灯のスイッチを消すことができます。(完全に暗くできます)

・水銀灯の再点灯には時間がかかります。

キャンプファイヤー・キャンドルサービスの基本的な流れ

| 展 開 | 進 行 | 留意点 |
|--|---|--|
| 準備 | <ul style="list-style-type: none"> ・係ミーティング → ・リハーサル ・準備（井桁、BGM、出し物道具他） | |
| 第1部 点火のセレモニー(10~20分) | | |
| 参加者入場 開会の言葉 歌唱 火の神入場 火の神の言葉 点火 （分火の場合） 歌唱 | <ul style="list-style-type: none"> ・大きな円となるよう入場 司会（または、代表児童生徒）による「遠き山に日・・・」等1番歌、2番ハミング 歌唱に合わせて火の精先導で、火の神入場（火の神の言葉の例参照） 火の精が井桁に点火する（精→代表児童） 司会の合図で火の守は井桁 ※キャンドルサービスでは、個人のキャンドルにリレー形式で分火を行ってもよい 「燃えろよ、燃えろ」 | <ul style="list-style-type: none"> ・私語を慎む ・輪の中（井桁の周り）を一周 ・井桁の下部に点火する ・火を見つめながら |
| 第2部 交流のつどい(40~60分) | | |
| スタンツ ゲーム・ダンス等 「猛獣狩り」 「ジェスチャーゲーム」 | <ul style="list-style-type: none"> 各グループ（クラス）のスタンツ発表【寸劇、歌、ダンス、ゲームなど】 グループ発表の間に、全体での歌や簡単なゲーム、ダンスを入れて、変化をさせるとよい ※ファイヤークールが出し物ごとに、井桁の炎を立たせるとよい | <ul style="list-style-type: none"> ・出し物は、暗い中での発表に適するものを考案したい ・ゲームリーダーが雰囲気を作るようにする |
| 第3部 消火のセレモニー(10分) | | |
| 歌唱 分火 【誓いの言葉】 歌唱（楽器演奏） 火の神退場 閉会の言葉 退場 | <ul style="list-style-type: none"> 「一日の終わり」など 火の神の一言の後、クラスまたは個人に分火 代表児童が誓いの言葉を発表する 「今日の日はさようなら」2番からハミング 歌の途中で、火の精を先頭に井桁一周して退場 司会（または、代表児童生徒）による 全員無言で退場（司会の指示により） ※ファイヤークールを退場していく方法もある | <ul style="list-style-type: none"> ・心を静めるため、星空を見上げることも ※雰囲気に合った詩を朗読、楽器演奏も ・ロード缶に点火しておく |
| 片付け | <ul style="list-style-type: none"> ・消したあった屋外灯の点灯 ・井桁の消火処理（キャンプ場のルールに従う） ・スタンツ小道具の撤収、借りた機器の返却 | <ul style="list-style-type: none"> ・衣装、放送機器 |

※展開例は一例です。集団の年齢や構成、実態に応じて、様々な方法が考えられます。点火、分火、消火の方法についても、感動的な演出を考え、行ってみてください。

※キャンプファイヤーとキャンドルサービスの基本的な流れに差がありません。キャンドルサービスの方が、団体による自由な構成・細かな演出が可能です。

各種の言葉 参考例

エールマスター 開会の言葉

今日一日、私たちの野外活動を照らしてくれた太陽も、もう西の山に落ち、静かな夜がここ●●に訪れようとしています。山の緑の香りや木々の息づかいを感じながら、私たちのキャンプファイヤーを始めます。

火の神の言葉【ショートバージョン】

私は、この旭高原に住む火の神である。今宵は皆のため、火をさずけに降りてきた。考えて欲しい。人々は火を自由に扱えることによって、このように発展をとげてきたのだ。今こうして私がさずけるこの火に見つめ『感謝の心』を思いおこして欲しい。その心が、皆の豊かな心をはぐくむ。そして、その先には素晴らしい未来が待ち受けているだろう。今宵が皆の素晴らしい未来のための第一歩となることを願っている。

火の神の言葉【分火バージョン】

私はこの旭高原に太古の昔より住む火の神である。火はその光と熱で、闇夜を明るく照らし、人々をけものから身を守り、食べ物を煮たり焼いたり、ものを作ったりすることに役立ってきた。火は、私たちの命を支えてくれるものなのだ。今からみなさんに3つの火を授ける。

1つ目は、信頼の火。どんな時も相手を信頼し、自分も信頼してもらえろ。

そんな人間になろう。(分火する。以下同じ。)

2つ目は、友情の火。どんな人とも友だちになり、仲良く協力し合う。

あなたも周りも心の底から温かくなるのだ。

3つ目は、希望の火。人は、様々な困難に出会う。何があってもあきらめず、

希望をいただき、力強く生きていくのだ。

あなたには『信頼の火』を授ける。

火の精「私は『信頼の火』をいただきました。いつも仲間を信じ信じられる人になります。」

あなたには『友情の火』を授ける。

火の精「私は『友情の火』をいただきました。私たちは常に協力し仲間を大切にします。」

あなたには『希望の火』を授ける。

火の精「私は『希望の火』をいただきました。私たちはどんな時も前向きに生活します。」

全 員「わたしたちは、いただいた火をいつまでも、心の中で燃やし続けます。」

エールマスター 閉会の言葉

●●で共に過ごした時間、仲間と作り上げた思い出を大切にしてください。キャンプファイヤーの火は、やがて消えるでしょう。しかし、この火、この思い出を、いつまでも心の中にもち続け、どんな時も仲間と協力し合ったことを忘れず、これからの未来を力強く生きていきましょう。私たちのキャンプファイヤーを閉じます。